

## 平成 27 年 度

### 公益財団法人早期胃癌検診協会消化器内視鏡研修医募集要項

#### 1 財団の概要

当財団は、早期胃がんを主とし大腸や食道の早期がんを含めた消化器系のがんについて、診療を通じて学術的かつ診断技術的な研究に取り組んでいます。また、日本消化器内視鏡学会の指導施設であり、3名の常勤の指導医が勤務しています。

特に、胃がんの診断と内視鏡的治療をもっとも得意としていますが、大腸がん・食道がんの診断や内視鏡的治療にも多くの実績があります。

さらに、人間ドック、生活習慣病検診、婦人科検診などの総合検診も行っています。

#### 2 研修目標

財団の特徴を活かした研修を通じて確実な診療能力及び診断技術を養います。研修の最終的な目標は、日常診療に必要な消化管疾患の内視鏡診断に関する知識及び技術を習得することです。

#### 3 研修期間

1年（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

研修終了時の評価が良好な場合、希望者には研修期間の延長を検討します。

#### 4 研修内容

別添「消化器内視鏡研修の概要」を参照

なお、週1回（1回3時間）及び臨時的に検診における診察を担当

#### 5 応募資格及び採用予定数

##### ① 応募資格

前期臨床研修を修了した医師及び平成27年3月末に前期臨床研修修了予定者

##### ② 採用予定数

平成27年度は1名（平成28年度以降も各年度1名ずつ採用予定）

#### 6 勤務条件及び処遇

##### ① 身 分

契約職員

##### ② 勤務時間

月曜日～金曜日 8時45分から17時15分

土曜日 8時45分から12時45分（月1回の出勤）

- ③ 年次有給休暇 12日
- ④ 研 究 日 週1日
- ⑤ 給 与 月額 320,000円  
その他通勤手当、時間外勤務手当支給（賞与の支給なし）
- ⑥ 社会保険等 健康保険、厚生年金等の社会保険適用

7 応募期間

平成26年10月6日（月）～平成27年2月14日（土）

8 応募方法

市販の「履歴書」、医師免許証の写し及び推薦状（現在、勤務する病院長あるいは所属長などのもの）を担当あてに郵送してください。

なお、最終締切日までの消印があるものを有効なものとして取り扱います。

9 選考方法

財団役員等による面接

10 選考日

応募者に対して、個別に選考日を通知します。

11 提出先及び連絡先

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町2丁目6番12号

公益財団法人 早期胃癌検診協会

TEL 03-3668-6803

担当 西山

# 消化器内視鏡研修の概要

| 4月  |  | 5月   |  | 6月  |  |
|---|--|--|--|---|--|
| 前半  | 後半   | 前半   | 後半   | 前半  | 後半   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●内視鏡検査に必要な基本的知識（手順、機器の構造）の習得</li> <li>●シュミレーターを使用し、基本的なスコープの扱いに慣れる</li> <li>●内視鏡画像を見て部位（及び病変）の説明ができる</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●シュミレーターを使用し、実際的なスコープの扱いに慣れる</li> <li>●Sedation下での内視鏡挿入と操作の習得及び観察、写真撮影</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●Sedationなしでのスコープの挿入と操作の習得及び観察、写真撮影</li> <li>●Sedation下での生検操作の習得</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●Sedationなしの生検操作の習得</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●大腸内視鏡検査法の知識の習得とシュミレーターを用いた実習</li> <li>●大腸内視鏡において、S状結腸までの挿入法の習得</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●簡単な症例の全結腸内視鏡検査を一人でやりとげる</li> </ul> |
| 7～8月  |  |  |  | 9月  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●上部消化管内視鏡において癌症例の拾い上げができる</li> <li>●大腸内視鏡において50%以上の症例で回盲部まで挿入できる</li> <li>●消化管X線検査法について手技を理解し、簡単な二重造影像を撮影することができる</li> <li>●消化管の組織解剖を理解する（病理）</li> </ul>                                 |  |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●治療内視鏡の原理を理解し、器材の取扱いができる</li> <li>●治療内視鏡の手技を理解し、適切な内視鏡介助ができる</li> </ul>    |  |
| 10～12月  |  |  | 1～3月   |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●大腸内視鏡において80%以上の症例で回盲部まで挿入できる</li> <li>●上部消化管内視鏡において病変の拡大・NBIでの観察ができる</li> <li>●大腸内視鏡において病変の拡大・NBIでの観察ができる</li> <li>●食道、胃X線検査を一人で撮影することができる</li> <li>●消化管生検材料で基本的な所見を理解する（病理）</li> </ul> |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●緊急内視鏡検査を行い、簡単な止血処置ができる</li> <li>●大腸内視鏡において簡単な症例のEMRが施行できる</li> <li>●大腸内視鏡において女性や高齢者（挿入困難例）でも回盲部まで挿入できる</li> <li>●食道、胃X線画像を正しく判定することができる</li> <li>●簡単な消化管生検材料をGroup分類できる（病理）</li> </ul> |   |  |